



Mt. FUJI
SUSTAINABLE
PROJECT

2024年5月28日

富士急行株式会社

【富士急グループ×富士の緑とフードサポート】
ごみゼロの日(5/30(木))に
ミネラルウォーター684L、食料品 10kg を寄付



(2023年10月の寄付時の様子)

富士急行株式会社（本社：山梨県富士吉田市、社長：堀内光一郎）および富士急グループでは、「ごみゼロの日」である2024年5月30日（木）にミネラルウォーター57ケース（約684リットル）とお菓子やレトルト食品、缶詰などの食料品約10キロを、特例認定NPO法人「富士の緑とフードサポート」（以下、「同法人」）へ寄付いたします。ミネラルウォーターは富士ミネラルウォーター株式会社、食料品は富士急グループ従業員の家庭から寄付されたもので、これらは同法人を通して学校給食がなくなる夏休みに向け、支援を必要としている富士吉田市内の子育て家庭へ提供されます。

富士急グループでは、富士山麓電気鉄道株式会社が2023年5月より同法人と連携して富士急行線富士山駅待合室に子育て支援BOXを設置。これまで、家庭で使いきれない未使用食品など約79キロの寄付を駅のご利用者さまよりいただいております。（5月27日現在）

また、富士ミネラルウォーター株式会社は2023年8月にミネラルウォーター1Lペットボトル（12本入り）150ケース、10月に1.5Lペットボトル（8本入り）25ケースを寄付するなど、継続的に寄付を行なっております。

富士急グループでは食品ロスの削減と地域社会への貢献を目指し、今後も持続可能な社会の実現に向けて取り組んでまいります。

【寄付の概要】

(1) 寄付先

- ・ 特例認定 NPO 法人「富士の緑とフードサポート」

(2) 寄付品

- ・ **寄付品回収期間**
2024 年 5 月 20 日（月）～24 日（水）
- ・ **寄付内容**
富士ミネラルウォーター株式会社より、富士ミネラルウォーターPET ボトル 1L（12 本入り）57 ケース
富士急グループ従業員の各家庭より、お菓子、レトルト食品、缶詰など 約 10 キロ



富士急グループのSDGsの取り組み

「富士急グループは、ESG経営を実践し、事業を通じて社会的な課題を解決することで、地域社会の発展と国際目標「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成に取り組んでおり、ESG・SDGsの取り組み方針として「富士山エリアを『リゾートシティ』とする、持続可能な地域社会を実現する」ことを目指しております。